

PGA-1


コースガイダンス

～ケアマネジメント基礎コースの全体像～

社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団
相談支援部長・なごや高次脳機能障害支援センター参事
小島 一郎

本コース2日間の流れ

6月18日(木)	
9:00 -9:10	コースガイダンス
9:10 -12:10	ケアマネジメントにおけるアセスメントとその教育方法
12:10 -13:10	昼休憩
13:10 -16:05	ケアマネジメントにおけるアセスメントとその教育方法
16:15 -17:10	演習講師への事前説明・研修の重要性
17:10 -17:20	2日目のまとめ
	研修全体のまとめ

6月19日(金)	
9:00 -9:10	法定研修の流れと現任者に求めるスキル
9:10 -10:30	個別支援における意思決定支援の教育方法
10:45 -11:30	現任研修の意思決定支援の研修企画・運営
11:35 -12:00	2日間のまとめ
	 午後のプログラムへ

本コースの対象

「ミクロレベルのケアマネジメント(いわゆる個別支援)とその研修における取り扱いについて」【主に初任者研修・現任研修】

- 初任者研修: 相談支援の業務(価値・知識・技術)を一通り学ぶ
モデル(となる教材)が必要

今日

- 現任研修 : 相談支援専門員としての業務を振り返り、
今後のスキルアップにつなげる
振り返りを促す仕掛け(ツールや手法)が必要

明日

- ◎ 研修に携わる人たちの間での、共通理解と協働が必要
- ◎ 結果として、地域の相談支援体制の強化につながる必要がある

2日目のまとめ

本コースの対象

「ミクロレベルのケアマネジメント(いわゆる個別支援)とその研修における取り扱いについて」【主に初任者研修・現任研修】

- 初任者研修: 相談支援の業務(価値・知識・技術)を一通り学ぶ
モデル(となる教材)が必要

2月19日(金)フォローアップ研修で、改めて共有!

今日明日の「学び」「気づき」を、いかに都道府県研修に反映させるか?

振り返りを促す仕掛け(ツールや手法)が必要

フォローアップ研修の前に、リモートで実施状況を確認し合うのもアリ!

- ◎ 研修に携わる人たちの間での、共通理解と協働が必要
- ◎ 結果として、地域の相談支援体制の強化につながる必要がある

「相談支援の実際」(演習1、2日目)に盛り込むべき内容のチェック

	盛り込むべき内容	✓	工夫や課題
①	ケアマネジメントプロセスに沿った演習展開		
②	演習の目的に適したモデル事例の準備		
③	初期相談を想定した模擬面接、コミュニケーションへの配慮		
④	情報収集～ニーズ把握の思考過程		
⑤	ジェノグラムやエコマップといったツールの活用		
⑥	ストレングスモデル、生物・心理・社会モデル、ICF等の活用		
⑦	本人の意向とニーズ等、必要な視点を踏まえたサービス等利用計画の作成		
⑧	計画作成におけるストレングス活用、インフォーマル活用		
⑨	模擬サービス担当者会議の体験		
⑩	モニタリングの理解と記録の作成		
⑪	相談支援の終結とセルフケアマネジメントへの移行		

ニーズ整理票 (確認)

【演習】ワークシート3(ニーズ整理票)

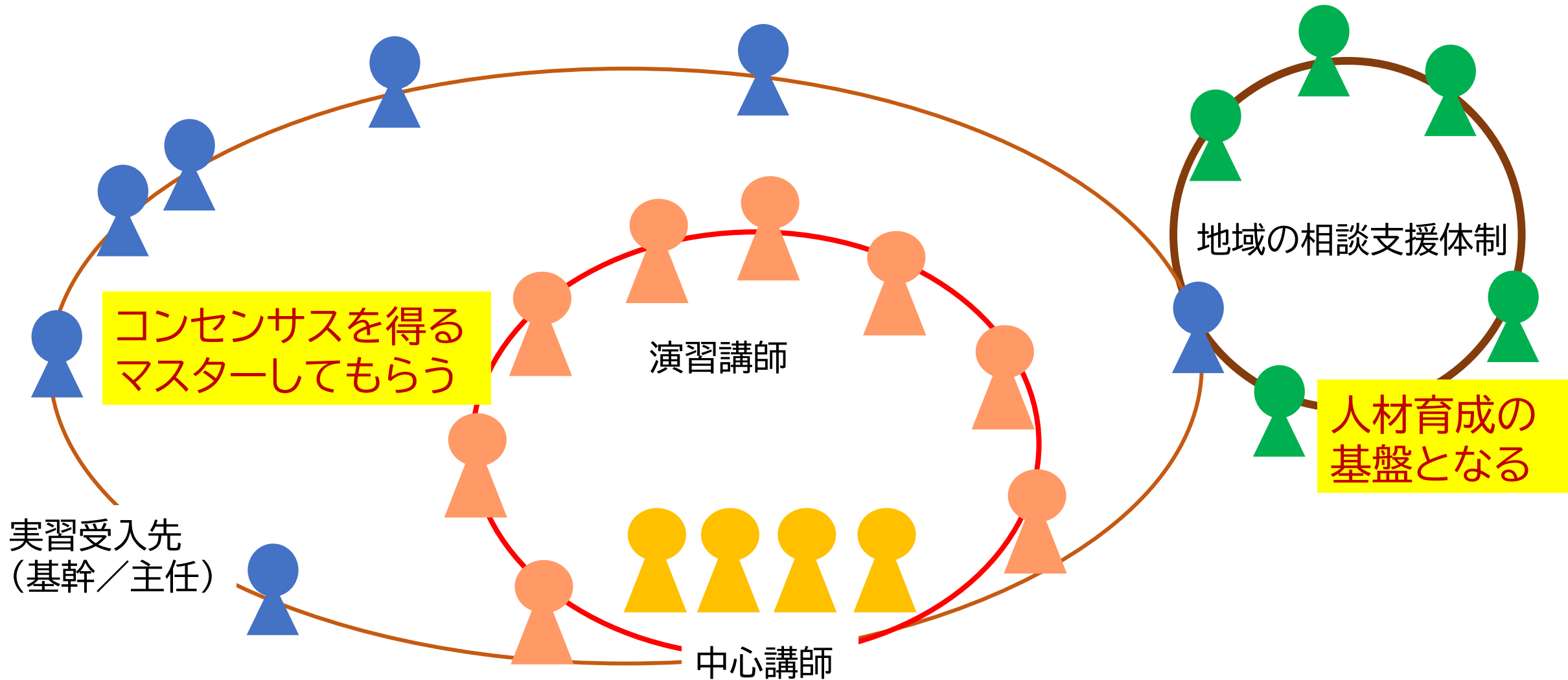
インタビュー		アセスメント			
議題の整理 (議題ごと、類似のこと、テーマなど、重複)		理解・解釈・整理 (各議題のあらわし方、類似・重複)	理解・解釈・整理② (専門的アセスメントや他者の解釈・整理)	支援課題 (金額が必要となる場合があること)	プランニング 対応・方針 (作成者がやらなければならないこと)
本人の表明している 希望・懸念したい課題	(作成者の)おさえておきたい課題	本人			

ニーズ整理票は、

- 整理するためのツール
アセスメント結果から、
真のニーズ
思考過程（私はこう考える）
仮説の根拠
（必要な情報を取捨選択）
⇒支援をするための基盤になります

- 言語化するためのツール
担当者会議等で、
支援方針や支援内容等を報告
行政担当者へ、
支給決定の根拠を報告
沢山ある情報の中から取捨選択し
必要な情報だけで端的に説明する
（ケースレポートをする）
⇒演習3日目につながります

研修に携わる人たちの間での 教材の理解と協働



明日の演習に向けて

意思決定支援に関するロールプレイの

ファシリテーター（と事例提供者）

を決めておく